

国立大学法人

東京海洋大学

Open Campus 2024 Summer

品川キャンパス 対面イベント案内パンフレット

◆海洋資源環境学部

8/3(土) 10:00 - 16:00
(受付 9:30 - 15:30)

◆海洋生命科学部

8/4(日) 9:00 - 16:00
(受付 8:30 - 15:30)



目次

1.	事前申込について	1
2.	入場受付について	2
3.	連絡事項	3
4.	海洋資源環境学部（8/3）	4
	・ 海洋環境科学科	4
	・ 海洋資源エネルギー学科	6
5.	海洋生命科学部（8/4）	8
	・ 海洋生物資源学科	8
	・ 食品生産科学科	10
	・ 海洋政策文化学科	12
6.	共通プログラム（教員・学生による個別相談・入試相談他）	14
7.	施設見学	15

事前申込について

OCANs より会場予約をお願いします。

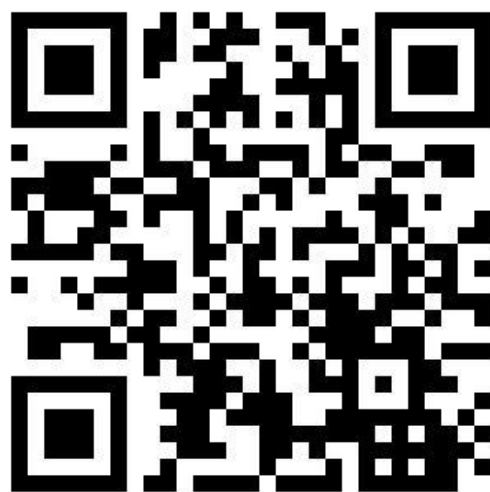
予約開始日時：7月12日（金）16:00～

本イベントは個別申込制です。

対象者（中高生など）は個人で申込・予約を行ってください。

保護者・付添いの方がいる場合は、同伴者として人数を入力してください。

URL：<https://www.ocans.jp/kaiyodai?fid=Pv6nILZs>



各プログラムは、入退場自由です。

興味のあるプログラムに、ご自由にご参加ください。

※一部、**事前予約制**のイベントや**当日先着順**のイベントがありますのでご注意ください。

対面イベント以外にも、LIVEイベントやオンデマンドの動画も配信しています。ぜひご参加ください。

入場受付について

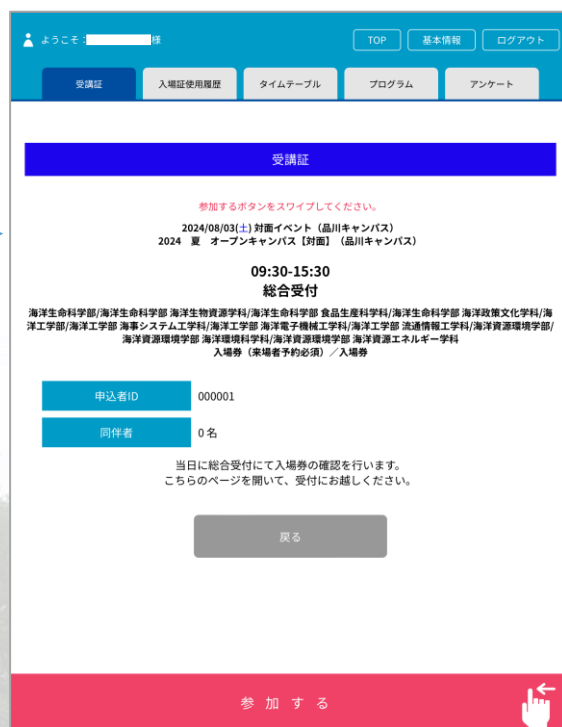
オープンキャンパス参加者は、まず**総合受付（正門前）**にお越しください。受付で案内や海洋大限定ノベルティ等をお渡しします。

参加される方は**入場券（OCANsシステムより予約）**の確認を行います。付添いの方以外は、個人でお申込み・予約の上、お越しください。

総合受付にお越しいただく際は、予めスマートフォン・タブレット等で、OCANsのマイページから入場券をご準備ください。

★入場券の表示方法

1. OCANsにログインし、「受講証」を選択
2. 「受講証表示」をタップ
3. 入場券が表示されます。
右図の画面をご提示ください。



ようこそ [ユーザー名]

TOP 基本情報 ログアウト

受講証 入場券使用履歴 タイムテーブル プログラム アンケート

受講証

参加するボタンをスワイプしてください。

2024/08/03(土) 対面イベント (品川キャンパス)
2024 夏 オープンキャンパス【対面】 (品川キャンパス)

09:30-15:30
総合受付

海洋生命科学部/海洋生命科学部 海洋生物資源学科/海洋生命科学部 食品生産科学科/海洋生命科学部 海洋政策文化学科/海洋工学部/海洋工学部 海洋システム工学科/海洋工学部 海洋電子機械工学科/海洋工学部 流通情報工学科/海洋資源環境学部/海洋資源環境学部 海洋環境科学科/海洋資源環境学部 海洋資源エネルギー学科
入場券 (来場者予約必須) / 入場券

申込者ID 000001
同伴者 0名

当日に総合受付にて入場券の確認を行います。
こちらのページを開いて、受付にお越しください。

戻る

参加する

連絡事項

1. イベントに関する注意事項

- ・一部**事前予約制**のイベントや**当日先着順**のイベントがあります。定員に達した場合は参加できませんので、ご了承ください。
- ・一部イベント以外は、同伴者もプログラムに参加可能です。
- ・当日は多くの方の来校されるため、混雑が予想されます。参加者が多いプログラムでは、満席となり人数を制限したり立ち見となる場合もあります。
- ・オープンキャンパスのイベントが行われていない教室や建物には入らないようご注意願います。
- ・イベント内容は、変更になる場合がございます。更新した情報は、本学ホームページにてお知らせいたします。

2. 参加者アンケートについて

ご帰宅の前に**参加者アンケート**にぜひご協力ください。当日アンケートにご回答いただいた方限定で、総合受付にてノベルティをプレゼントします。

3. その他

- ・熱中症にかかりやすい季節ですので、こまめに**水分補給**をしてください。
- ・気分が悪くなった場合は、**保健管理センター**（会場案内図参照）に直接お越しいただくか、本学教職員またはオープンキャンパススタッフにお申し出ください。
- ・ご不明な点、落し物・忘れ物等ございましたら、**総合受付**までお越しください。
- ・駐車場・駐輪場はありませんので、ご来場の際は**公共交通機関**をご利用ください。
- ・当日、本学ホームページや参加団体のホームページに掲載するため、各プログラムの様子を撮影することがあります。（参加者の顔は写りません）
- ・この案内パンフレットは、資料として当日配布することはありません。当日配布する資料の中に、ダウンロード用QRコードがありますので、**Web上**でご利用ください。（紙媒体を使用したい方は、お手数ですがご自身で印刷してご持参ください。）

●事前予約プログラム

イベント	実施時間	プログラム・担当教員	プログラム内容	会 場
体験学習	①11:00~11:45 ②13:00~13:45 ③15:00~15:45	3D標本を使って鯨の骨を調べてみよう 中村 玄 准教授 鯨類学研究室	海洋大学には世界的に貴重な鯨類の骨格標本が多くあります。最新の3D技術を使って作られた標本を用いて専門家と一緒に鯨の骨格をじっくり観察してみませんか？ ※各回定員10名	マリンサイエンス ミュージアム 2階 レファレンスルーム

※参加される方はOCANsよりプログラムの予約をお願いいたします。
（空きがあれば、当日申込も可能です）

●予約不要プログラム①

イベント	実施時間	プログラム・担当教員	プログラム内容	会 場
模擬講義	①10:10~10:40 ②14:10~14:40	海の砂漠の話 橋濱 史典 准教授 化学海洋学研究室	広い亜熱帯海域の表層は、栄養成分が少なく、植物プランクトンも少ない「海の砂漠」です。地球温暖化に伴い「海の砂漠化」が進行し、生態系や気候が変わると予測されていますが、本当にそうなるのでしょうか？本講義では、「海の砂漠」について詳しく解説し、最近スタートした「海の砂漠化モニタリング」について紹介します。	①講義棟 1階 大講義室 ②白鷹館 1階 講義室
	①10:50~11:20 ②14:50~15:20	乱獲とは何か？ 鈴木 直樹 教授 個体群生態学研究室	近年、我が国周辺の水産資源が減少していると言われています。水産資源の減少の一つの理由に、水産資源の現存量に対して過度な漁獲圧力、すなわち乱獲があります。この講義では、乱獲が生じる理由の一例を紹介します。	
体験学習	①13:00~14:00 ②14:00~15:00 ③15:00~16:00	実験：海の流れをつくろう 長井 健容 准教授 資源環境動態学研究室	自転する地球に吹く風が作る海流を水槽で再現しよう。 ※各回定員15名程度（会場先着順）	9号館 1階 109号室
オープンラボ	13:00~16:00	水圏環境に生息する微生物及び酵素の環境適応と利用 石田 真巳 教授 岡井 公彦 准教授 海洋生化学研究室	微生物や酵素が環境にどのように適応して働いているかを解明し、環境保全へ利用することを目指しています。主な研究対象は、海洋環境、特に深海などの好圧・低温環境で生息する極限環境微生物を中心にしており、淡水の環境微生物についても紹介します。	3号館 2階 212・216号室
	13:00~16:00	魚の健康バイオセンシング～さかなの気持ちを知ることとは可能か？ 遠藤 英明 教授 呉 海云 准教授 生物機能利用学研究室	魚にもヒトと同様に「気持ち」という感情があるのでしょうか？当研究室では、「バイオセンサ」という先端技術を駆使して、その解明に取り組んでいます。今回はバイオセンサの原理について解説し、実際のシステムや実験水槽などを見せながら、魚の気持ちをどのように探求しているのかを紹介いたします。	3号館 2階 218号室

●予約不要プログラム②

イベント	実施時間	プログラム・担当教員	プログラム内容	会 場
オープンラボ	13:00~15:00 (随時)	クラゲと海の生物 石井 晴人 准教授 海洋生態学研究室	海洋環境の変化に伴い、現在、クラゲ類は世界各地の海で大量に発生しております。私たちの研究室では、このような生物の大量発生が、どのようなシステムで起きるのかを現場調査と飼育実験から明らかにしようとしています。オープンラボでは、研究活動について説明するとともに、実際に顕微鏡などで対象生物の観察なども体験していただけます。	8号館 1階 101号室
	13:00~15:00 (随時)	海洋生物に対する人為的攪乱の影響 今 孝悦 准教授 底生動物学研究室	海洋酸性化やマイクロプラスチック汚染など、現在、海洋生物はさまざまな人為的攪乱の影響下にあります。私たちの研究室ではそうした攪乱が海洋生物に与える影響評価を行っています。オープンラボでは人為的攪乱を概説するとともに、それらの影響をどのように評価するのかを紹介します。	9号館 2階 213号室
	13:00~16:00 (随時)	海水中に溶けているものを測る 高橋 美穂 教授 海洋無機化学研究室	海水中の金属イオンや分子イオンは凝析によって非常に低い濃度になっています。例えばFe(III)とFe(II)の濃度を測定するために重要な仕事の一つです。「どんな分子でどんなイオンになって溶けているのか」を明らかにすることは現在の分析化学においてもっとも重要な課題の一つです。 ※各回定員5名（会場先着順）	9号館 3階 302号室
研究室紹介	①10:10~11:20 ②11:30~12:40 ③14:10~15:20	海洋生物学系の学生による研究紹介 海洋生物系研究室群	海洋生物学系の研究室を二つのグループに分けて紹介します。 ① 無脊椎動物学、水圏生態化学、底生動物学、生体機能利用学、個体群生態学、鯨類学 ② 藻類学、海洋生化学、浮遊生物学、生物海洋学、海洋生態学、魚類学 講義棟3階32番教室： ①10:10~ ②11:30~ ③14:10~ (各回先着120名) 講義棟3階34番教室： ①10:10~ ②11:30~ ③14:10~ ※各回先着120名 ※各回60~70分程度、途中入退室可。 ※各回内容は同じ。	講義棟 3階 32番・34番教室
	①11:00~12:00 ②14:00~15:00	海洋学系の学生による研究紹介 海洋学系研究室群	海洋学系の研究室（生物海洋学、化学海洋学、環境測定学、資源環境動態学、数理科学系、地球科学系）を紹介します。 講義棟4階42番教室： ①11:00~ ②14:00~ ※各回先着120名 ※各回40~50分程度、途中入退室可。 ※各回内容は同じ。	講義棟 4階 42番教室

海洋資源環境学部 8/3 (土)

海洋資源エネルギー学科

●事前予約プログラム

イベント	実施時間	プログラム・担当教員	プログラム内容	会 場
体験学習	①11:00~11:40 ②11:45~12:25 ③13:00~13:40 ④13:45~14:25 ⑤14:30~15:10 ⑥15:15~15:55	マイクロプラスチックを見てみよう！ 内田 圭一 教授	マイクロプラスチックってどのように存在するのか？実物を見ながらその問題について一緒に考えます。 ※各回定員8名	1号館 1階 101-1実験室
オープンラボ	①11:00~ ②14:00~	2次元反射法地震探査システムの見学ツアー 鶴我 佳代子 准教授	「教育研究紹介」において、スライド・ポスター等による研究室紹介「地震波で地下を診る」も行います。 ※各回定員12名	集合場所 2号館 1階 100A・100B教室前

※参加される方はOCANsより各プログラムの予約をお願いいたします。
(空きがあれば、当日申込も可能です)

●予約不要プログラム①

イベント	実施時間	プログラム・担当教員	プログラム内容	会 場
模擬講義	①10:10~10:40 ②14:10~14:40	エネルギーと資源の有効利用へ：超電導現象を技術へ転換する研究開発 高橋 圭太 助教	海洋の資源やエネルギー源を上手く利用するための技術とは。電磁応用機器である磁気分離装置や発電機の開発動向と、これらに新しい機能をもたらす超電導技術を紹介します。	①白鷹館 1階 講義室 ②講義棟 1階 大講義室
	①10:50~11:20 ②14:50~15:20	海洋生物の位置を知る 浅井 咲樹 助教	水中に生息する海洋生物の位置や移動経路をどうやって特定するのか、生態研究で利用されている観測技術について紹介します。	



海洋資源環境学部 8/3 (土)

海洋資源エネルギー学科

●予約不要プログラム②

イベント	実施時間	プログラム・担当教員	プログラム内容	会 場
教育研究紹介	10:00~16:00	海洋資源エネルギー学科 の教育研究紹介 海洋資源エネルギー学科 教員・学生	海域地震学研究室（中東教授） ・ 海底地震観測で分かること 海洋気象学研究室（竹山准教授） ・ 洋上風力発電に資する風況把握の説明 海洋地盤工学研究室（谷教授・野村准教授） ・ 海洋地盤工学研究室の研究紹介 デバイス工学研究室(井田教授・高橋助教) ・ 超電導発電機／潮流発電装置／磁気分離装 置の紹介 海底探査・地下モニタリング研究室(鶴我准教 授) ・ 地震波で地下を診る 沿岸域工学研究室（稲津准教授・吴助教） ・ 沿岸域工学研究室の研究紹介 応用情報学研究室（宮本教授・内田教授・浅井 助教） ・ 水中生物からマイクロプラスチックまで海 洋調査手法の紹介 海洋数理工学研究室（上野教授） ・ 海洋における諸現象の数理解析と解説 海洋生物音響学研究室（三島助教） ・ イルカの鳴音研究の紹介 海洋音響計測学研究室（甘糟教授） ・ 音波を使った海洋生物の調査手法の紹介 海洋システム制御工学研究室（戸田教授） ・ 海洋システム制御工学研究室の研究紹介 海洋底地球科学研究室(古山助教) ・ 海洋地質学・炭酸塩地球化学からわかるこ と 海洋環境化学工学研究室（淵田准教授） ・ 海底鉱物資源開発に関する研究紹介	2号館 1階 100A・100B教室



●事前予約プログラム

イベント	実施時間	プログラム・担当教員	プログラム内容	会 場
模擬講義	10:30~11:15	魚の性別は環境で変わる？地球温暖化が魚類の性に与える影響 山本 洋嗣 准教授 集団生物学研究室	魚の性決定は他の脊椎動物と異なり、生息環境の影響を受けやすいといわれています。講義では、脊椎動物に一般的にみられる遺伝型性決定機構から、魚にみられるユニークな環境依存型性決定機構までをわかりやすく解説するとともに、現在私たちが取り組んでいる「地球温暖化が魚類の性決定に与える影響評価」について紹介します。 ※参加対象者定員370名	(※1) 参加対象者： 白鷹館 1階 講義室 同伴者： 2号館 1階 100A教室 講義棟2階 22番講義室
	13:00~13:45	サバからマグロは生まれるか？ 吉崎 悟朗 教授 水族生理学研究室	小型のサバの仲間がクロマグロを産んでくれたら、大型で成熟までに時間がかかるうえ、準絶滅危惧種にも指定されているクロマグロの養殖を飛躍的に簡便化することが可能です。卵や精子のおもとの細胞である生殖幹細胞を操作することでこれが実現に近づいています。本講義ではその原理と将来展望を紹介します。 ※参加対象者定員370名	
	14:00~14:45	ウミガメを守りながらサカナをとる 一生態系に配慮した漁業についてー 塩出 大輔 教授 生産システム学研究室	漁業では、海亀や海鳥といった希少な生物が意図せずに釣針に掛かったり網に迷い込んだりする場合があります。そうした混獲を避けてサカナだけを漁獲することで、生態系に配慮した漁業を実現しようとする様々な取り組みとその方法を、実例を交えて詳しく解説しながらご紹介します。 ※参加対象者定員370名	
体験学習	① 9:30~10:30 ② 13:00~14:00 ③ 15:00~16:00	魚からDNAをとってみよう！ ゲノム科学研究室	生き物の設計図であるゲノムはDNAにより構成されています。身近な「魚」を解剖して、組織を構成する細胞の中からDNAをとってみましょう。 ※各回定員30名 (同伴保護者は会場後方の待合スペースでお待ちいただけます)	2号館 4階 404号室 (学生実験室)

※参加される方はOCANsより各プログラムの予約をお願いいたします。
(残席があれば、当日申込も可能です)

※1 模擬講義の会場について
模擬講義の対面会場は、中高生等の参加対象者を優先します。
参加対象者（中高生など）：白鷹館1階講義室（対面）
同伴者、本会場の予約が出来なかった方：同時間に2号館1階 100A教室・講義棟2階22番講義室（サテライト会場）にてオンラインでご参加いただけます。

海洋生命科学部 8/4（日）

海洋生物資源学科

●予約不要プログラム

イベント	実施時間	プログラム・担当教員	プログラム内容	会 場
研究室紹介	9:30~16:00	学生による研究室紹介・パネル展示 海洋生物資源学科に所属する全13研究室	海洋生物資源学科の様々な研究室で行なっている海の生き物に関する研究について、実際に研究を行っている学生がポスターやパネルを使ってみなさんにご紹介します。	白鷹館 2階 多目的スペース
研究紹介・ 実習紹介・ パネル展示	9:30~16:00	（体験コーナー）絶滅危惧種のミヤコタナゴを救え！代理親魚技法による種の保全 水族生理学研究室 （体験コーナー）その魚、いつどこで産まれたの？耳石の観察からわかること 集団生物学研究室 （体験コーナー）品川育ちのタコの赤ちゃんを観察してみよう！ 増殖生態学研究室 （体験コーナー）環境にやさしい養殖を可能にするアクアポニックス 水族養殖学研究室 （体験コーナー）ウイルス感染細胞はどう変わる？ 水族病理学研究室 （体験コーナー）クジラの個体数の変化をシミュレーションで100年間予測してみよう！ 資源解析学研究室	海洋生物資源学科の様々な研究室で行なっている海の生き物に関する研究の展示・体験コーナーです。	2号館 2階 200A



●事前予約プログラム

イベント	実施時間	プログラム・担当教員	プログラム内容	会 場
体験学習	①9:30~10:00 ②10:15~10:45 ③11:00~11:30 ④11:45~12:15	低温の不思議～超低温と過冷却～ 食品冷凍学研究室	低温にすると食品の保存性が向上する、 というのも良く考えれば不思議だと思 いませんか？この体験学習では、低温で起 こる不思議な現象を実際に見ていただき、 その背景にあるサイエンスについて解説 します。 ※各回定員20名（同伴者1名まで可）	3号館 1階 121実験室
	①9:30~10:00 ②10:15~10:45 ③11:00~11:30 ④11:45~12:15	海藻から人造イクラをつくる 食品物性学研究室	海藻由来の多糖類であるアルギン酸から 人造イクラを作ります。 ※各回定員20名	3号館 2階 226実験室
	①9:30~10:00 ②10:15~10:45 ③11:00~11:30 ④11:45~12:15	蛍の光で汚れを検出 食品プロセス工学研究室	ちゃんと洗ったつもりでも、目に見えな い汚れは本当に落ちているのでしょうか？ それを検証するために、この体験学 習では食器上の見えない汚れを光らせて 数値化する実験を行います。 ※各回定員10名（同伴者1名まで可）	3号館 1階 122実験室

※参加される方はOCANsよりプログラムの予約をお願いいたします。
（空きがあれば、当日申込も可能です）



海洋生命科学部8/4（日）

食品生産科学科

●予約不要プログラム

イベント	実施時間	プログラム・担当教員	プログラム内容	会 場
模擬講義	13:15~13:45	魚にはどんな油が含まれ、どのような機能をもつか？ ー食品の機能性を化学で明らかにするー 田中 誠也 助教	魚に含まれる特徴的な油や特性を知り、魚を食べることでのどのような健康機能が得られるか。海洋大で実際に行っている研究を紹介しつつ説明します。	講義棟 1階 大講義室
	13:55~14:25	低・未利用魚介類から水産食品の原料まで ～加工原料適性の解明～ 耿 婕婷 助教	食品加工学研究室で取り組んでいる研究内容の一つとして、低・未利用魚介類に加工技術を駆使して付加価値を与え、食品原料として有効利用する研究があります。本講義はこれについて分かりやすく紹介します。	講義棟 1階 大講義室
実習紹介	9:30~14:00	食品生産科学科実習紹介（写真と製品展示） 柴田 真理朗 准教授	食品生産科学科の実習に関するご質問を教員および学生がお受けします。実習風景は大型モニタで映され、実習で製造された製品（缶詰等）も展示されます。	3号館 1階 渡り廊下
研究紹介・ 実習紹介・ パネル展示	9:30~12:30	毎日の食事を安全かつ美味しく豊かに！ー私たちの食を支える加熱制御技術ー 食品熱操作工学研究室	食品熱操作工学研究室では、食品の加熱・冷却操作に関して、熱の移動現象を基礎として、これに伴う水分の移動や、さまざまな食材の変化について解析し、加熱加工・調理、殺菌の予測・制御を目指しています。研究内容の紹介とともに、食品産業で実際に使われている機器の小型試験機をご覧ください。	4号館
	9:30~12:30	時を止める魔法、それが冷凍 食品冷凍学研究室	冷凍は、食品を今あるそのままの状態で保存できる可能性を持つ唯一の保存法です。我々はそんな冷凍保存の可能性をあらゆる側面から研究しています。実験室にパネルを展示してご紹介します。	3号館 1階 118実験室
	9:30~12:30	海洋生物がもつ不思議なはたらきを利用する 生体物質化学研究室	最新の研究で明らかになった海洋生物の不思議な成分とその実用化の一端を紹介します。	3号館 3階 320実験室
	9:30~12:30	生命科学の最前線ーアレルギーからD-アミノ酸までー 食品衛生化学研究室	魚介類やその寄生虫あるいは化粧品や医薬品などの化学物質によるアレルギー、発熱物質であるエンドトキシンの細胞を用いた検出法、はたまたエビの食味向上やイカのD-アミノ酸、昆虫食に対する安全性に至るまで、私たちが取り組んでいる多種多様な最新の研究をパネルで紹介します。	3号館 3階 320実験室
	9:30~12:30	安全で美味しい食品を消費者に届ける技術 食品微生物学研究室	安全で美味しい食品を消費者に提供するために欠かせない、食中毒菌の制御法及び賞味期限の延長に関する研究について、食品微生物学研究室で取り組んでいる内容をご紹介します。	3号館 4階 422実験室

海洋生命科学部 8/4（日）

海洋政策文化学科

●予約不要プログラム①

イベント	実施時間	プログラム・担当教員	プログラム内容	会 場
模擬講義	10:00~10:30	国際海洋問題をどう学ぶか 猪又 秀夫 教授	海洋に関する国際問題として、漁業や海洋汚染を取り上げ、海洋大でどのように勉強できるか説明します。	図書館 1階 Shoal Room
	13:00~13:30	海を渡った日本語：その文化資源としての活用 今村 圭介 准教授	日本語は日本国内の日本人のみによって使われているものではありません。かつて日本人と共に海を渡った日本語は、行き着いた先の文化に溶け込みながら、なお息づいています。そのような日本語の現状と文化資源としての活用について考えていきます。	
学生教員懇談会	①9:15~9:45 ②15:30~16:00	海洋政策文化学科は、どんなところ？ ①千足 耕一 海洋政策文化学科主任・その他学科教員 ②婁 小波 教授・その他学科教員	海洋政策文化学科の「学び」について説明し、来場者の皆さんからの質問に教員と学生がお答えします。	
対話型ワークショップ	10:30~11:00	学問と社会のつながり——経済学や文学は持続可能な社会の実現に貢献するのか 大野 美砂 教授 若松 美保子 准教授	皆さんは経済学や文学はどのような学問だと思いますか。私たちの生活にどのように関連しているのでしょうか。経済学や文学において環境に良い行動をどのように促しているのか実例を紹介しながら、経済学や文学が私たちの持続可能な社会を実現していくためのゴールにどのように役に立つのか、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。	
	13:30~14:00	岡本かの子「鮓」から読み解く魚食文化 日臺 晴子教授 原田 幸子准教授	岡本かの子『鮓』（1939年）には、町の鮓屋や当時の鮓、鮓屋の娘、ちょっと訳ありのお客さんが登場します。『鮓』で描かれる魚食文化や登場人物の生活を、文学と水産の研究者がそれぞれの視点で解説し、現代との相違点や共通点を議論していきます。	
実習紹介	①11:00~11:30 ②14:00~14:30	海洋政策文化学科の実習の紹介 藤本 浩一 准教授	1年生の専門導入のための実習をはじめ、マリンスポーツ、水産業、海洋政策、地域社会、水圏環境教育に関する海洋政策文化学科の実習を紹介します。 ※各回内容は同じ。	
卒論・研究室紹介	①11:30~12:00 ②14:30~15:00	海洋政策文化学科の研究室と卒業論文の紹介 工藤 貴史 教授	海洋政策文化学科には様々な観点から海と人・社会の関係を学ぶ研究室があり、そこで学んだ卒業生の卒業論文を紹介し、本学科の学習・研究内容について具体的に説明します。	

海洋生命科学部 8/4（日）

海洋政策文化学科

●予約不要プログラム②

イベント	実施時間	プログラム・担当教員	プログラム内容	会 場
オープン ゼミ	11:00~11:30	乱獲のメカニズム～我々はなぜ魚を獲りすぎるのか？～ 松井 隆宏 准教授	現在、世界の約30%の魚が、獲りすぎの状態にあります。自分たちが困るにもかかわらず、我々はなぜ魚を獲りすぎるのでしょうか？ どうしたら、獲りすぎを防ぐことができるのでしょうか？ この問題について、経済学の視点から考えていきます。 ※対象者は主に受験生（高校生・既卒生） ※各回定員10名（会場先着順）	図書館 1階 多目的室
	14:00~14:30	アクアポニックスの観察・飼育活動は、どのような教育的効果が期待されるか？ 佐々木 剛 教授	アクアポニックスは、農業と水産業を同時に行う循環型食糧生産システムです。アクアポニックス水槽を教室に設置した場合、どのような教育効果が期待されるでしょうか。実際の水槽観察と学校現場での実践研究をもとにして、アクアポニックスの可能性を皆さんでディスカッションしましょう。 ※対象者は主に受験生（高校生・既卒生） ※各回定員10名（会場先着順）	
学科入試 案内	①9:45~10:00 ②12:30~12:45	海洋政策文化学科の入試について 高橋 周 教授	海洋政策文化学科で実施している一般選抜、総合型選抜、学校推薦型選抜について説明します。 ※各回内容は同じ。	図書館 1階 Shoal Room
進路紹介	①12:00~12:30 ②15:00~15:30	海洋政策文化学科卒業生の進路について 中原 尚知 教授	海洋政策文化学科を卒業した皆さんの就職先や進学状況について紹介します。 ※各回内容は同じ。	



共通プログラム 8/3（土）・8/4（日）

●教員・学生による個別相談

学部	学 科	時 間	内 容	会 場
海洋資源環境学部 (8/3)	海洋環境科学科	13:00~16:00	各学科の教員と学生が個別に大学の教育研究内容や学生生活についての質問などにお答えします。	楽水会館 1階 大会議室
	海洋資源エネルギー学科			
海洋生命科学部 (8/4)	海洋生物資源学科	13:00~16:00		
	食品生産科学科			
	海洋政策文化学科			

●入試相談・資料配布・過去問閲覧

担 当	時 間	内 容	会 場
入試課	13:00~16:00 (資料配布のみ 10:00~16:00)	入試に係る質問について、入試課職員が個別にお答えします。また、学科パンフレット等の資料配布や、過去問題の閲覧も可能ですので、ぜひお立ち寄りください。	楽水会館 1階 大会議室

●「学部学科紹介」動画上映

時 間	内 容	会 場
10:00~16:00	学部・学科の紹介動画を上映いたします。 8/3：海洋資源環境学部全学科 8/4：海洋生命科学部全学科	8/3：講義棟 2階 22番教室 8/4：講義棟 3階 32・34番教室

●休憩場所

時 間	内 容	会 場
11:00~14:00	提供メニュー：ラーメン、うどん、定食等	大学会館 1階 生協食堂ホール
10:00~16:00	飲み物、書籍、大学グッズ等を販売しています。	大学会館 1階 生協購買・書籍部
10:00~16:00	食事や休憩場所としてご利用ください。	講義棟 2階 21番教室 講義棟 3階 31・33・35番教室

施設見学 8/3（土）・8/4（日）

●施設見学

実施時間	プログラム	プログラム内容	会 場
10:00~16:00	語学学習施設の紹介	グローバルコモンは語学学習スペースです。書籍、CD、映画DVDなど様々な学習ツールのほか、自習用の個人ブース及びスピーキング練習用の防音ブースがあります。 また、小規模なセミナースペースは、英会話レッスンや海外派遣プログラムの事前研修に活用されています。 自由に見学することができます。ご質問にはスタッフが答えいたします。	大学会館 2階 グローバルコモン
10:30~15:30	マリンサイエンスミュージアム・鯨ギャラリー特別開館	本館・鯨ギャラリーを特別開館します。 予約不要・無料で見学できます。なお昼休み(12時-13時)を除く時間は、博物館実習を履修している学生が収蔵品に関する説明を行っています。 (混雑時は入館制限をする場合があります。本館の最終入館時間は15:00です。) 常設展に加えて、これまで通常公開してこなかった、東京水産大学時代から続く本学南極観測に関わる様々な収蔵品の特別展示を実施します。	マリンサイエンス ミュージアム・ 鯨ギャラリー
開館時間： 9:00~16:00 館内案内： ①10:30~11:00 ②12:15~12:45 ③14:30~15:00	図書館館内案内ツアー	・開館時間中は自由に見学・利用することができます。 ・8/3、4両日：館内案内ツアーを行います。各回先着10名程度・事前予約不要、希望の方は開始時間に図書館2階カウンター前に集合してください。 ・8/4：図書館1階ラーニングコモンズが海洋政策文化学科の説明会場となります。	附属図書館



MEMO

〒108-8477 東京都港区港南4-5-7
問い合わせ先： 入試課入試第一係
E-mail n-nyusi1@o.kaiyodai.ac.jp
TEL 03-5463-0510
ホームページ： <https://www.kaiyodai.ac.jp/>
東京海洋大学 海洋生命科学部・海洋資源環境学部